

国立歴史民俗博物館 研究報告



Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

Collaborative Research :
“Gendering the History of
the Japanese Archipelago”

2022

【共同研究】

日本列島社会の歴史とジェンダー

横山百合子編

共同研究・展示の経過と概要 横山百合子

【論文】

殯宮儀礼の主宰と大后 女帝の成立過程を考える 仁藤敦史

金井沢碑の「現在侍家刀自」再考 戸籍／系譜と一族結合よりみた「妻」説への疑問 義江明子

古代の政治空間のなかの女性 国家意志形成との関わりについて 伊集院葉子

【研究ノート】

古代の文字文化とジェンダーに関する覚書 東アジアと地域社会の視点から 三上喜孝

【論文】

中世武家所領と女性の相続 石見益田氏を素材に 久留島典子

中世末～近世初の女性の地位をめぐる 後家尼と家族の像および財産処分文書から 小島道裕

中世後期の遊女屋をめぐる社会観念 辻 浩和

「御城使」としての奥女中 選任と役務の検討を中心に 柳谷慶子

幕末維新时期新吉原遊廓における遊女屋・遊客・遊女 横山百合子

高橋由一画「花魁」のモデル稲本屋小稲ほか遊女の書状を素材として

【研究ノート】

豪商と遊廓 三井と茶屋の関係を中心に 村 和明

萩城下の民衆世界における女性 「御仕置帳」に見る 森下 徹

【論文】

通信省における女性の雇員と判任官 貯金部局を中心に 一九〇〇年～一九一八年 松沢裕作

【研究ノート】

労働省婦人少年局と地方職員室・序説 長 志珠絵

【論文】

古代戸籍のなかの母子 大宝二年半布里戸籍にみる戸の編成と家族 田中禎昭

【研究ノート】

腰機と女性 古代日本の布の規格に関する考察 東村純子

ジェンダー史としての天保改革と江戸 エイミー・B・スタンリー

【論文】

近代における風俗史研究と美人画の着物 澤田和人

明治後期～大正期日本の梅毒罹患と地域社会 栃木県塩谷郡喜連川病院の事例から 廣川和花

【研究ノート】

田植えと女性 民俗学からの一考察 関沢まゆみ

国民国家形成と〈青年〉試論 男性史研究の視点から 加藤千香子

【資料紹介】

博物館関係者のための手引書「博物館とジェンダー」 横田あゆみ

ドイツ・オルデンブルク大学研究プロジェクト「知を生産する機関としての新しい郷土博物館」の紹介をかねて

第235集

令和4年9月

国立歴史民俗博物館 研究報告 第235集

[共同研究]

日本列島社会の歴史とジェンダー

横山百合子 編

令和4年9月

目次

共同研究・展示の経過と概要

横山百合子

1

〔論文〕

殯宮儀礼の主宰と太后……女帝の成立過程を考える

仁藤敦史

25

金井沢碑の「現在侍家刀白」再考……戸籍／系譜と一族結合よりみた「妻」説への疑問

義江明子

59

古代の政治空間のなかの女性……国家意志形成との関わりについて

伊集院葉子

87

〔研究ノート〕

古代の文字文化とジェンダーに関する覚書……東アジアと地域社会の視点から

三上喜孝

117

〔論文〕

中世武家所領と女性の相続……石見益田氏を素材に

久留島典子

125

中世末～近世初の女性の地位をめぐって……後家尼と家族の像および財産処分文書から

小島道裕

145

中世後期の遊女屋をめぐる社会観念

辻 浩和

165

「御城使」としての奥女中……選任と役務の検討を中心に

柳谷慶子

193

幕末維新期新吉原遊廓における遊女屋・遊客・遊女……高橋由一画「花魁」のモデル稲本屋小稻ほか
遊女の書状を素材として

横山百合子

225

〔研究ノート〕

豪商と遊廓……三井と茶屋の関係を中心に

村 和明

251

萩城下の民衆世界における女性……「御仕置帳」に見る

森下 徹

281

〔論文〕

通信省における女性の雇員と判任官……貯金部局を中心に 一九〇〇年～一九一八年

松沢裕作

297

〔研究ノート〕
労働省婦人少年局と地方職員室・序説……………長志珠絵……………327

〔論文〕
古代戸籍のなかの母子……大宝二年半布里戸籍にみる戸の編成と家族……………田中禎昭……………353

〔研究ノート〕
腰機と女性……古代日本の布の規格に関する考察……………東村純子……………387

ジェンダー史としての天保改革と江戸……………エイミー・B・スタンリー……………401

〔論文〕
近代における風俗史研究と美人画の着物……………澤田和人……………431

明治後期〜大正期日本の梅毒罹患と地域社会……栃木県塩谷郡喜連川病院の事例から……………廣川和花……………463

〔研究ノート〕
田植えと女性……民俗学からの一考察……………関沢まゆみ……………501

国民国家形成と〈青年〉試論……男性史研究の視点から……………加藤千香子……………513

〔資料紹介〕
博物館関係者のための手引書「博物館とジェンダー」……ドイツ・オルテンブルク大学研究プロジェクト
「知を生産する機関としての新しい郷土博物館」の紹介をかねて……………横田あゆみ……………533

Research Notes

HIGASHIMURA Junko

Women and Back-Strap Looms : Consideration for Standards of Cloth in Ancient Japan 387

Amy Beth Stanley

The Tenpō Reforms as Gender History 401

Article

SAWADA Kazuto

The Relationship between Study of Genre History and Kimono Drawn in Bijin-ga in
Modern Times 431

HIROKAWA Waka

The Prevalence of Syphilis and the Local Community in Early Twentieth-Century
Japan : The Case of Tochigi Prefecture's Kitsuregawa Hospital 463

Research Notes

SEKIZAWA Mayumi

Rice Planting and Women : A Study from a Folkloric Point of View 501

KATO Chikako

Formation of Nation-State and "Seinen (Young Man)" : From the Perspective of
Masculinity History Research 513

Research Materials

YOKOTA Ayumi

Handbook "Museum & Gender" : Fruit of a Research Project in University Oldenburg,
Germany 533

YANAGIYA Keiko	
Maidservants as Ladies in Waiting in the Inner Chambers of Edo Castle : A Study of their Appointment and Services	193
YOKOYAMA Yuriko	
Brothels, Customers, and Prostitutes of the Shin-Yoshiwara Red-Light District in the Late Tokugawa and Meiji Restoration Period : Based on Letters of Koina, Model for Yuichi Takahashi's Painting, <i>A Courtesan</i> , and Other Prostitutes of Inamoto-ya	225
Research Notes	
MURA Kazuaki	
Japanese Big Merchant's Use of "Yukaku" (a red-light district) in the Edo Period	251
MORISHITA Toru	
Women in the Lower Society of the Hagi Castle Town Looking at <i>Oshiokicho</i>	281
Article	
MATSUZAWA Yusaku	
Female Employees and Officials of the Ministry of Post and Telecommunications in Japan : The Cases of the Savings Department from 1900 to 1918	297
Research Notes	
OSA Shizue	
The Activity of the Women's and Minors' Bureau in Occupied Japan : Focus on Women of Prefectural Branches as	327
Article	
TANAKA Yoshiaki	
Mothers and Children in Ancient Household Registers : Families and Organization of Households in the Year 702 as Indicated in Hanyuri Koseki	353

Bulletin of the National Museum of Japanese History Vol.235

Collaborative Research:
“Gendering the History of the Japanese Archipelago”
Edited by YOKOYAMA Yuriko

Contents:

YOKOYAMA Yuriko Progress and Summary of Collaborative Research and Exhibits	1
Article	
NITO Atsushi The Temporary Mortuary for an Emperor’s Coffin Courtesy that the Leading Empress Supervises : Think about an Establishment Process of the Empress	25
YOSHIE Akiko Does the Kanaizawa Stela’s Inscription Really Mean “the Wife of the Household?” : Challenging the “Wife” Theory through Analysis of Residence Unit Register Formats, Genealogy Styles, and Rural Elite Familial Bonds	59
IJUIN Yoko Women in Ancient Political Space	87
Research Notes	
MIKAMI Yoshitaka Memorandum on Ancient Writing Culture and Gender : From the Perspective of East Asia and Japanese Local Communities	117
Article	
KURUSHIMA Noriko Medieval Samurai Territory and Female Inheritance : Using the Masuda Clan of Iwami Province	125
KOJIMA Michihiro On the Status of Women in the Late Medieval and Early Modern Periods in Japan : From the Images of Widow Nuns and Their Families, and Documents on the Disposal of Property	145
TSUJI Hirokazu Social Conceptions about Brothels in the Late Middle Ages	165

『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

平成 31 年 3 月 5 日 研究推進センター会議改正

令和 2 年 3 月 3 日 研究推進センター会議改正

令和 3 年 1 月 12 日 研究推進センター会議改正

1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』(以下「研究報告」という。)は、国立歴史民俗博物館(以下「本館」という。)の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」(以下「論文等」という。)を発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 研究報告には、通常号と特集号がある。通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。

2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授。
 - 二 本館運営会議委員。
 - 三 本館の共同研究員等。
 - 四 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等。
 - 五 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者(リサーチアシスタントを含む)。
 - 六 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者。
 - 七 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生で、本館教員が推薦した者。
 - 八 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者で、本館教員が推薦した者。
 - 九 その他、研究報告編集委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めた者。
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の共同研究員等。
 - 二 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等。
 - 三 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者。

3 投稿

- 3.1 掲載される論文等には、次の区分がある。
 - 一 論文：歴史学、考古学、民俗学および分析科学を含む関連諸学に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、もしくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの。
 - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、もしくは予察、試論、着想等を提示するもの。
 - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの。
 - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、もしくは調査・研究の基礎情報を提示するもの。
- 3.2 原稿は、区分を問わず未発表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.3 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.4 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、事前に編集委員会に相談すること。
- 3.5 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は『国立歴史民俗博物館研究報告』執筆要領に定める。

4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。

5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は、編集著作権との関連上、刊行から1年後以降、データのみ場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、50部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地

国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和3年2月1日から施行する。

『国立歴史民俗博物館研究報告』執筆要領

令和 3 年 2 月 9 日

研究報告編集委員会

I 体裁

1. 判型と字数

- ・ A4 判 横書または縦書。
- ・ 縦書の場合は、1 頁 32 字× 27 行× 2 段 (1,728 字)。
- ・ 横書の場合は、1 頁 44 字× 37 行× 1 段 (1,628 字)。

2. 分量

- ・ 区分を問わず 40 頁以内を目安とすること (写真, 図版, 表及び論文要旨等を含む)。
- ・ 特集号の原稿の総分量は, 原則として, 刷り上がりが 500 頁 (写真, 図版, 表及び論文要旨を含む) 以内に収めること。

3. 図表・写真

- ・ 最大で, 横 169mm × 縦 237.5mm。

II 投稿, および採録後の提出

1. 投稿時の送付物

- ・ 文章 (要旨も含む) および写真・図版・表などを印刷して執筆者名とタイトルを表記した印刷物 3 部を送付すること (この印刷物に対して査読を行う)。

2. 原稿の区分

- ・ 原稿の区分 (論文/研究ノート/資料紹介/調査研究活動報告) を明示すること。

3. 要旨とキーワード

- ・ 「論文」には, 下記の要旨およびキーワードを付けること (日本語・英語の両方が必要)。
800 字以内の日本語要旨および 5 項目以内の日本語キーワード
400 語程度の英語要旨および 5 項目以内の英語キーワード
- ・ 「研究ノート」「資料紹介」「調査研究活動報告」については, 英語タイトルも付けること。

4. 使用言語

- ・ 日本語以外の言語を使用する場合は, 日本語の翻訳または抄訳を付けること。

5. 採録決定後の送付物

- ・ 採録決定後に, 文章および写真・図版・表などのファイルを収録して執筆者名とタイトルを記した CD または DVD 1 枚, 写真・図版等の原版 (使用する場合), および上記の印刷物 1 部を提出すること。写真・図版等の原版のうち返却を希望するものは明示すること。
なお, 査読の趣旨に鑑み, 採録決定後は内容の修正・加筆はできない。
著者による校正は再校まで行うが, 組版の問題や, 誤字・脱字の修正等に限る。

6. 掲載順序

- ・ 通常号の掲載順序は, 編集委員会に一任すること。原則として, 通常号においては「論文」, 「研究ノート」, 「資料紹介」, 「調査研究活動報告」の順となる。

III 原稿作成についての留意事項

1. テキストデータ

- ・ タブ設定, 注釈, 箇条書きなど, ワードプロソフト固有の特殊機能は避けること。
- ・ テキストデータの作成は, Microsoft Word または Just System 一太郎 を推奨する。
InDesign などの編集ソフトデータで提出しないこと。
- ・ 特殊な文字, 記号, 割注, ルビなど, テキストの指示は印刷物に明示すること。

2. 写真

- ・文中に貼り付けた写真は印刷には適さないので、デジタルファイル、ポジフィルム、ネガフィルム、紙焼きなどの元データを用意すること。
- ・デジタル写真の場合、希望する掲載サイズと等寸で解像度を 350dpi 以上とすること（JPEG 画像は保存のたびに劣化するので注意すること）。

3. 図版

- ・文中に貼り付けた図版は印刷に適さないので、元データを用意すること。
- ・出力見本として、印刷したものを用意すること。
- ・デジタル図版の作成は、Adobe Illustrator を推奨する。0.25 ポイント以上の線幅を用い、完成後はアウトラインをかけて TIFF 画像、PNG 画像にすること。
- ・PDF は、トリミングのずれや文字化けを起こすことがあるので極力使用しないこと。
- ・図面のトレースは 1,200dpi 以上、印刷物のスキャンは 600dpi 以上で取り込むこと。

4. 表

- ・表計算ソフトで作成した表は、関数を値に変換し、書式・桁数など表示とセルの内容とを一致させること。

5. カラーの使用について

- ・カラーの写真、図版、表の掲載は原則として認めない。希望する場合は理由を提出し、編集委員会の許可を得ること。

6. 許諾

- ・写真、図版、翻刻等の掲載に際しての許諾は執筆者がとり、使用料も原則として執筆者が負担すること。

7. その他

- ・写真、図版、表を別データへリンクさせた状態で投稿することは認めない。
- ・印刷に適した大きさや解像度の写真、図版、表がない場合は掲載できないことがある。

IV 提出先・連絡先

〒 285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地
国立歴史民俗博物館 研究協力課 研究報告担当
(代表電話：043-486-0123)

[国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会]

館外委員 (五十音順)

青木 敬 國學院大學文学部
伊藤紫織 尚美学園大学芸術情報学部
大石泰夫 國學院大學文学部
鐘江宏之 学習院大学文学部

館内委員 (五十音順)

小瀬戸恵美 研究部情報資料研究系
田中大喜 研究部歴史研究系
中村耕作 研究部考古研究系
松田睦彦 研究部民俗研究系 (委員長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第235集
[共同研究] 日本列島社会の歴史とジェンダー
横山百合子 編

●
令和4年(2022) 9月30日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所

●
大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●
株式会社 正文社

〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6 ☎043-233-2235(代)

[装丁] 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Collaborative Research : “Gendering the History of the Japanese Archipelago”

Edited by YOKOYAMA Yuriko



Progress and Summary of Collaborative Research and Exhibits
YOKOYAMA Yuriko

Article

The Temporary Mortuary for an Emperor's Coffin Courtesy that the Leading Empress Supervises : Think about an Establishment Process of the Empress
NITO Atsushi

Does the Kanaizawa Stela's Inscription Really Mean “the Wife of the Household?” :
Challenging the “Wife” Theory through Analysis of Residence Unit Register Formats, Genealogy Styles, and Rural Elite Familial Bonds
YOSHIE Akiko

Women in Ancient Political Space

IJIN Yoko

Research Notes

Memorandum on Ancient Writing Culture and Gender : From the Perspective of East Asia and Japanese Local Communities
MIKAMI Yoshitaka

Article

Medieval Samurai Territory and Female Inheritance : Using the Masuda Clan of Iwami Province

KURUSHIMA Noriko

On the Status of Women in the Late Medieval and Early Modern Periods in Japan :

From the Images of Widow Nuns and Their Families, and Documents on the Disposal of Property

KOJIMA Michihiro

Social Conceptions about Brothels in the Late Middle Ages

TSUJI Hirokazu

Maidservants as Ladies in Waiting in the Inner Chambers of Edo Castle : A Study of their Appointment and Services

YANAGIYA Keiko

Brothels, Customers, and Prostitutes of the Shin-Yoshiwara Red-Light District in the Late Tokugawa and Meiji Restoration Period :

Based on Letters of Koina, Model for Yuichi Takahashi's Painting, *A Courtesan*, and Other Prostitutes of Inamoto-ya

YOKOYAMA Yuriko

Research Notes

Japanese Big Merchant's Use of “Yukaku” (a red-light district) in the Edo Period

MURA Kazuaki

Women in the Lower Society of the Hagi Castle Town Looking at *Oshiokicho*

MORISHITA Toru

Article

Female Employees and Officials of the Ministry of Post and Telecommunications in Japan : The Cases of the Savings Department from 1900 to 1918

MATSUZAWA Yusaku

Research Notes

The Activity of the Women's and Minors' Bureau in Occupied Japan : Focus on Women of Prefectural Branches as

OSA Shizue

Article

Mothers and Children in Ancient Household Registers : Families and Organization of Households in the Year 702 as Indicated in Hanyuri Koseki

TANAKA Yoshiaki

Research Notes

Women and Back-Strap Looms : Consideration for Standards of Cloth in Ancient Japan

HIGASHIMURA Junko

The Tenpō Reforms as Gender History

Amy Beth Stanley

Article

The Relationship between Study of Genre History and Kimono Drawn in Bijin-ga in Modern Times

SAWADA Kazuo

The Prevalence of Syphilis and the Local Community in Early Twentieth-Century Japan : The Case of Tochigi Prefecture's Kitsuregawa Hospital

HIROKAWA Waka

Research Notes

Rice Planting and Women : A Study from a Folkloric Point of View

SEKIZAWA Mayumi

Formation of Nation-State and “Seinen (Young Man)” : From the Perspective of Masculinity History Research

KATO Chikako

Research Materials

Handbook “Museum & Gender” : Fruit of a Research Project in University Oldenburg, Germany

YOKOTA Ayumi

ISSN 0286-7400

vol. 235
2022